



下和泉小だより

横浜市立下和泉小学校

校長 品川 仁美

生成 AI の活用について

先日学校に向かう途中で、目の前をすいっと秋あかねが通り過ぎて行きました。

相変わらず日差しは強いのですが、日陰で風がそよぐと、かすかに涼しさも感じられるようになりました。この夏休み中は、熊本地震や千葉の豪雨被害など災害の多い夏でした。被災された方々には、お見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

まだまだ暑さは続きますが、昨年より過ごしやすと感じたので、昨年と比べてどうだったか、ChatGPTに聞いて、表にまとめてみました。すると、8月1日から8月24日までの平均気温には、次のような違いがあることがわかりました。

気温と降水量昨年との比較

	最低気温	最高気温	降水量
令和7年8月(1日～24日)	26.7℃	33.74℃	39mm
令和8年8月(1日～24日)	24.2℃	31.78℃	81mm
昨年との差	-2.5℃	-1.96℃	+42mm

今年は、昨年に比べて雨天の日が多く、降水量は昨年のほぼ倍でした。昨年は閉庁日が明け、出勤したら、花壇の花が枯れていましたが、今年は青々としていました。適度な雨のおかげで気温の上昇も抑えられたようです。神奈川県では、適度な降水量で暑さが抑えられ、現在県内のダムの貯水量は100%です。一方で、高温と降水量の減少でダムの貯水量が10%を下回っている地域もあります。

南北に長い日本の気候の違いに驚かされます。

また、気になったことを生成 AI を活用すると、あっという間に調べることができることはとても便利だと改めて実感しています。横浜市が学校教育活動で大切にしている「社会情動的コンピテンシー（非認知能力）」の中の一つ「知的好奇心」は、「不思議だな」「どうしてだろう」という疑問や課題を解決していくことで育つ能力ですが、課題の解決に生成 AI の活用は期待できると感じます。しかし、生成 AI は活用するものであり、問いを見つけたり、情報を選択し、思考・判断したりしていく力を伸ばしていくことが、今後ますます必要になってくると考えています。

9月1日から、生活道路の制限速度が30キロに変わります。

生活道路とは、

- ・主に地域住民の日常生活に利用される道路
- ・中央線や中央分離帯がない一般道路

を指します。

現在の制限速度は60キロですが、9月1日からは、30キロになります。学校の正門から南門にかけての外周は生活道路です。学校の外周に限らず、痛ましい交通事故を防ぐため、交通ルールの遵守に引き続きご協力をお願いいたします。